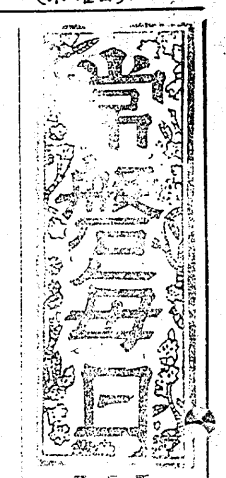


発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
（電代表）2104—2105番

産婦人科
院長　叶多
分院　磯本駅前天王町（午後）電（常磐）四〇一
本院　平市一ノ九（本町通り）（午前）電（平）二三五五
「海上」今、あすとも多少風波ある

歳の瀬惨事

連日事故に当局大慌て

（写真は事故現場）

準急に衝突即死

内郷池内　無人踏切で停止怠り

あわただしい暮れも迫った二六日内郷市高坂地内の常磐線無人踏切でハイヤーが列車にはねとばされ運転手が負傷する事件が発生した矢先の、二十七日午後一時四十四分ごろ常磐線の無人踏切で自家用軽自動車が衝突し、運転手が即死するという、いたましい事故が発生した。

同時刻ごろ内郷市御台坂（平自動車学校前）の無人踏切で、平市長橋町酒類販売業関内平平商店の自家用軽自動車（ダットサン三百六・CC）運転手渡辺彰一さん（当四二）（写真）＝平市草野泉字岩天作二三＝が酒を積んで同市御台坂の呉羽化学〝くれたけ荘〟に忘年会の酒を届けに行く途中、折からはくしんして来た下り準急〝ときわ〟（機関士村田真一さん三五＝水戸機関区）と衝突、約二百七十米引きずり停車した。このため自動車はメチャメチャに大破、運転手の渡辺さんは即死した。

同地内は見通しも良く、現場はカーブになっており渡辺さんは酒を〝くれたけ荘〟に届いたが酒一本がたらないため一旦宅に帰り、それを届けに行く途中の出来ごとであった。この事故で準急〝ときわ〟は現場を五十分遅れて、四時二十四分に発車した。列車の遅れで乗客百人を平自動車学校のトラック二台と普通自動車三台で平駅まで乗客を運搬した。

また この事故で上下列車が一時不通となり平駅は混雑したが、下りはつかり号三十分、同三五普通列車が三十分それぞれ遅れただけで回復した。渡辺さんは一月に同内郷店に勤めており、家族は妻シヲ子さんと長女（二）の（東京勤務）を頭に二人の子供がおり円満な家庭の人であった。妻のトシ子さんは今月十六日に平市大町内木医院に盲腸炎を手術して入院中であるが、事故の知らせに、子供をかかえて、悲嘆にくれ泣きむせび、同情を集めている。

目撃者の話「あの車は二、三回無人踏切を渡っているが、一回もいったん停車をしていなかった」。村田機関士の話「車を発見したが停車せず踏切を渡り出したので急ブレーキをかけたが、間に合わず衝突した。可愛想なことをしました」。

妻トシ子さんの話＝（病床から）＝夕べは宿直してくれたし、きょう（二十七日）昼御飯を食べて元気で出ていったのに

繁華街の昼火事

全半焼一戸で消しとむ

年も押しせまった二十八日、平市内の目抜き通りで昼火事が発生、大混乱をみた。同日午後十二時十五分ごろ平市二丁目東胡今方のうら倉庫から出火、木造二階建一棟、約三十平方米を全焼、隣家の福山カバン店裏の倉庫木造建一棟約十平方米を半焼して同十二時二十七分ごろ鎮火した。この火事で繁華街だけに約二千人からのヤジ馬が押し寄せた。（写真は平市二丁目の昼火事）

「親子のズレなくせ」

青少年問題協　明るい茶の間運動をおこす

平市、平市青少年問題協議会は親子のズレをなくそうと〝明るい茶の間運動〟と青少年不良化防止のため〝鍋のちがい運動〟を各地区ごとに展開しているが、当局では市内四カ所に立看板などを掲示して広く市民運動に盛りあげ、明るい街造りに乗り出した。

また親たちに不良化防止のため①子供の手本となる②たのしい家庭をつくる③あかるい社会を築くの三つの誓いを実行、子どもたちには①正しい友だちづきあいをさせる②禁じられたことをさせない③暴力のよくないことを教える④映画・雑誌・放送の正しいみかた、きき方を理解させる⑤親愛の情をさそぎとる⑥社会の一員としての自覚を深めさせるなどしよう、という。

どこへ行っても大掃除

お役所一齊に御用納め

あと四日で新年を迎える。各官庁では28日の御用納めを行う。平市役所では午前十時から職員が集合し、理事者の年末挨拶があり、午後一時から市民部の年末相談を行なう。

磐城市では二十八日新職員の採用試験を行なう。希望者は百三十名。

小名浜一小の特殊学級にコウモリガサ三十一本を寄贈した。まなざきの十三世帯の母子家にも毛布一枚ずつを贈った。

洋傘を寄贈

小名浜一小へ

小名浜ロータリークラブは二十六日、小名浜一小の特殊学級にコウモリガサ三十一本を寄贈した。まなざきの十三世帯の母子家にも毛布一枚ずつを贈った。

磐城市で新採用試験

磐城市では二十八日新職員の採用試験を行なう。希望者は百三十名を予定している。

文春のナカノ

たくなるなんて本気にされない。これからどうしたらよいか…」と床の中で涙にくれていた。

閻魔帖

一年間は永いようで短いもの。何時のまにか三百六十五日は過ぎようとしている。えんま帖もきょう限りをもって本年の終りとなった。日月のたつのも忘れて、その日その日に追われて一年間を振り返ることもなく過ぎて行くのだ。ひつと振り返って見ると、よくも毒にふれ時にのそんで、おく面もなく過ぎまくったものだ。暴挙も思考もせず、一つの問題を取り上げるだけで、問題を分離もせず、構成もそのままで、ただ書きまくったボロボロなものだった。

▼出版物文ということがあるが、えんまは完璧記文に明け暮れたわけである。従ってお粗末なものだった。ただただ赤面の至りで感謝者にはお詫びの言葉につきる思いである。それでも読者の方々には良く見きわこれ読みいただいた風とは感激に堪えぬと思っている。その証拠にあやまりや、疑問の点にふれて、なるべく筆お暇いただく

新年改めてご指導乞う

刷された文字にはよく心が高まるのであろう。この当たりが強くなってくる。三十六年を送り三十七年を迎える忘年にあたりその二、三を拾ってみると、

▼何も反響をまき起すようなが、一年間はあっという間の感じ。何時のまにか三百六十五日は過ぎようとしている。えんま帖もきょう限りをもって本年の終りとなった。日月のたつのも忘れて、その日その日に追われて一年間を振り返ることもなく過ぎて行くのだ。ひつと振り返って見ると、よくも毒にふれ時にのそんで、おく面もなく過ぎまくったものだ。暴挙も思考もせず、一つの問題を取り上げるだけで、問題を分離もせず、構成もそのままで、ただ書きまくったボロボロなものだった。

▼出版物文ということがあるが、えんまは完璧記文に明け暮れたわけである。従ってお粗末なものだった。ただただ赤面の至りで感謝者にはお詫びの言葉につきる思いである。それでも読者の方々には良く見きわこれ読みいただいた風とは感激に堪えぬと思っている。その証拠にあやまりや、疑問の点にふれて

▼何も反響をまき起すようなが、一年間はあっという間の感じ。何時のまにか三百六十五日は過ぎようとしている。えんま帖もきょう限りをもって本年の終りとなった。日月のたつのも忘れて、その日その日に追われて一年間を振り返ることもなく過ぎて行くのだ。ひつと振り返って見ると、よくも毒にふれ時にのそんで、おく面もなく過ぎまくったものだ。暴挙も思考もせず、一つの問題を取り上げるだけで、問題を分離もせず、構成もそのままで、ただ書きまくったボロボロなものだった。

▼出版物文ということがあるが、えんまは完璧記文に明け暮れたわけである。従ってお粗末

東京だより

バーの街平市

是でよいか識者に問う

磯山　山人

久し振りに故郷の土を踏んだなつかしい平の街々を眺めて驚いてしまった。変化した市街を眺めて、まだまだ間にその音の多いまちなど一寸間きなれる市の発展ではあるまいな。洪水にはにもあるということ思った。聞けば二百軒もバーが出来たという。新興都市ならいざ知らずこのようにバーのみ多くなってどうしたのだろうとの疑問が起ってくる。自分は酒を好きたらいのからいうのじゃないが、バーは姿がいつの間にか失って、新しい時代の市が生まれて来た新気機のようなものを感じた。

しかしこれでよいだろうか。一番目立ったことは、バーが何処にもあるということ思った。

いたに酒のみの人々が多いとしいても、バーが町の大部分を占めている現状について、どんなに酒類を扱っていても、バーは市民の社交場であろうとしてはいけない。

常磐地区の代表的な文化都市としては、市当局であろうと思う。これに対しては、市当局は、商工会議所も、識者も考えたこと思う。

でこれを批判するこのようなことは、市の発展ではあるまいな。洪水にはにもあるということ思った。

バーが生まれて果して最高文化と申し上げようもあるまい。これはどんな影響あるかとの疑問は、少しも判らないが、ものよい方向ではないと思うのはわたくしひとりの疑問ではあるまいか。

そのためにはまず、市当局は、商工会議所、識者も考えたこと思う。

これを出発点として、市当局は、商工会議所、識者も考えたこと思う。

これからは、市当局は、商工会議所、識者も考えたこと思う。

これからは、市当局は、商工会議所、識者も考えたこと思う。

これからは

文芸

芥川の「地獄変」を読んで

湯本三中一年　佐藤　美保

この物語は、「地獄変のびょうぶ」というある絵師、良秀の物語です。

良秀は大殿に浜節毛の車に火をかける事を頼み、大殿様は女を一人、その車に乗せる事を約束します。そしてその車に乗せられ焼き殺されたのは、何と良秀の最愛の娘でした。

娘の焼け死んでゆく姿を見ていく感銘を書いたものです。

私はこの芥川の作品を通解するのは、絵師良秀の芸術に対する生き方には、深い感銘をうけました。普通なら恨むべきはずの人長ですが、情熱の鬼となって芸術に対する意気ごみ、考え方にはコッポの様な真の芸術家を感じさせます。絵筆を持つと狂犬の様になる良秀が、仕事を完全、やり遂げようとして、弟子を盗の銀でしばり、蛇にかみつかせようとしたのは、大変もこいおそろしい事ですが、真実を求めようとするすさまじい情熱を感じます。

良秀はまわりの人達にきらわれたつた一人の娘まで殿様にとられてしまつたのでは、良秀の生活も地獄に似ていたと思います。しかし、私には、わからないところが沢山あります。大殿様はなぜ浜節毛の車と共に、良秀の娘を焼き殺してしまつたのでしょう。「車を焼き、人を殺してまきもびょうぶ絵を描こうとする、よじまな根性をこらしめる」ためだつたのでしょうか。烈々たる炎につつまれて娘が無惨な最をひきとる、まきわの苦痛を見た、良秀のこう傍とした心境は、いつたい何だつたのでしょうか。

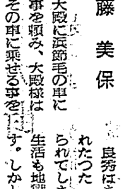
「車の焼ける炎と、娘の苦しみもだえ死ぬ姿を見た時、良秀は人間の愛情を感じたのだろうと思います。芸術家は良秀の様なすさまじい情熱と、美を愛する真実を理想とするのでしょうか。芥川は情熱に燃える金縛神をうちこわそうとすれば、みにくいものに美しさが見えてくる。という事を言おうとしているのだと思います。

地獄変を完成して良秀は死にました。作者は「二人の命を先立てたための男は、おそらく安閑としてはいられなかつたでしょう。娘はいないのは、生きる甲斐もない。良秀自殺した事によつて娘に対する愛情に、たつた一つの人間的な温かさを感じました。

芥川は人生をまじめな悲感に、とてもきびしい人がたのので良秀を自殺というようにしたのだと思います。

もし、人間性に富んだ芸術品ならば、人々に感作と言われ、尊敬もされた事でしょう。しかし良秀は道徳的に見ても、その人間性は欠点だらけだったため、すべてを無視して、「芸術こそ」がすべてなのだ」という考え方には、良秀自身が深くなやんだと思います。そして良秀が芸術の鬼になりきれなかつたのは、やはり人間の弱さがあつたからだと思います。

完成した地獄変を見た人々が感動して何もわなくなつたのは良秀の生きた地獄の苦行に感じたためでしょうか。それとも地獄変のびょうぶ絵から受けるすばらしさに圧倒されたためでしょうか。道徳的には人生の失格者である良秀が、すぐれた地獄の絵はすぐれたものだ。これは、良秀の絵の情熱に芸術家としては認められたと私は考えました。

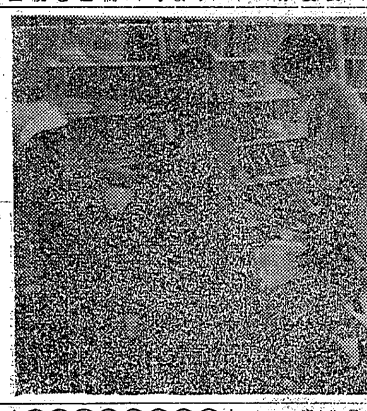


若返つた異動発令

常磐市　六課長百九名を

常磐市は三十七日大規模な人事異動を二月一日付で発令した。異動は職員三百六十人のうち百九十人にのぼるもので、六人の課長が誕生し部課長の年令も若がえった。おもな異動は次のとおり。（カッコ内旧任）

▽総務課長長内山朱一（出納課長）▽財政課長大谷光四郎（総務課庶務係長）▽経済課長小見野（商工課商工振興係長）▽厚生課長佐藤庄蔵（厚生課衛生係長）▽建設課長村上有（開発課長）▽水道温泉課長横山重雄（水道課長）▽市民部長中田修二（税務課第一収税係長）▽出納室長石川昭（出納係長）▽福祉事務所長島崎忠好（総務課長）▽市長室付飯塚源蔵（総務課長）▽市長公室▽室長平建設部企画担当芳賀勝夫（建設課長）▽農業委員会事務局長平農政企画担当高田親内（農林課長）▽商工事務局長豊田文男（厚生課長）▽事務局査定主任合併企画担当新谷正男（市民課長）▽森田一郎（鹿島市収入役）▽室長久保実（市民室長）▽森田一郎（鹿島市収入役）▽教育事務局▽学校教育課長大原武（学校教育課長）



勿来署に白バイを配置

勿来署に白バイがおめみえした。茨城県との県境にある国道内は交通量がひんぱんなうえ舗装され平駅間局では、年賀はがきの荷さばきは学生アルバイトを大量に採用して連日の大賑いを見せている学生たちは十四日から冬休みとあつて、朝からはがきの差し立てや一般郵便物の配達にかけずり回つている。

郵局での「アルバイトは、十六日、日だけでも百十人。配達際は出発前に「元気がないように」と注意を与えている。また同局は二、六日までの取り扱い数は引き受け六十七万五千枚、到着は百九十三万三千枚とも増した。引き受け数は昨年同期に比べて約八万五千枚も増えて約一千万枚を到着数は七万枚も多い状態である。このため、同局では支障がないようにと、昨年のアルバイト（延べ数一千三百六十三人を約一割多い一千五百十二人を採用しての計画で、万全の体制を敷いている。

（写真は差し立てに忙しい学生アルバイト）

ぐんと増えた年賀

発、着送七万枚を越す

交通量がふえてきたことから白バイを配置したもの。

平駅郵局では、年賀はがきの荷さばきは学生アルバイトを大量に採用して連日の大賑いを見せている学生たちは十四日から冬休みとあつて、朝からはがきの差し立てや一般郵便物の配達にかけずり回つている。

郵局での「アルバイトは、十六日、日だけでも百十人。配達際は出発前に「元気がないように」と注意を与えている。また同局は二、六日までの取り扱い数は引き受け

勿来署に白バイを配置

勿来署に白バイがおめみえした。茨城県との県境にある国道内は交通量がひんぱんなうえ舗装され

映画欄

ラジオ　娯楽室

福島ラジオ

NHK第1

NHK

紅白歌合戦

歌のパレード番組

豪華版出場メンバーきまる

常磐市は三十七日大規模な人事異動を二月一日付で発令した。異動は職員三百六十人のうち百九十人にのぼるもので、六人の課長が誕生し部課長の年令も若がえった。おもな異動は次のとおり。（カッコ内旧任）

▽総務課長長内山朱一（出納課長）▽財政課長大谷光四郎（総務課庶務係長）▽建設課長小見野（商工課商工振興係長）▽厚生課長佐藤庄蔵（厚生課衛生係長）▽建設課長村上有（開発課長）▽水道温泉課長横山重雄（水道課長）▽市民部長中田修二（税務課第一収税係長）▽出納室長石川昭（出納係長）▽福祉事務所長島崎忠好（総務課長）▽市長室付飯塚源蔵（総務課長）▽市長公室▽室長平建設部企画担当芳賀勝夫（建設課長）▽農業委員会事務局長平農政企画担当高田親内（農林課長）▽商工事務局長豊田文男（厚生課長）▽事務局査定主任合併企画担当新谷正男（市民課長）▽森田一郎（鹿島市収入役）▽室長久保実（市民室長）▽森田一郎（鹿島市収入役）▽教育事務局▽学校教育課長大原武（学校教育課長）

各局の大ものがたりの夜の「歌のパレード番組」出場のメンバーが決まった。NHK「紅白歌合戦」で司会は一昨年、昨年に続いて白組（女）中村メイ子、白組（男）高橋圭三、出場のメンバーは紅白各二十五組。初出場は坂本九、こまどり姉妹ら紅白合わせて九組。連続十二回出場（八回まで歌手、九回から指揮）の服部良一、十一回の林伊佐緒らのベテラン陣は健在だが、連続十回の松島詩子はじめ奈良光枝、二葉あき子、荒井恵子らの常連組は姿を消した。出場者は次のとおり（初＝初出場）

「紅組」＝朝丘雪路、淡谷のり子、江利チエミ、藤本二三代、藤沢鳳子、花村菊江、美空ひばり、神楽坂浮子、越路吹雪、ペギー葉山、松尾和子、松山恵子、美空ひばり、宮城まり子、水谷良重、三橋美智也、三波春夫、三浦洸一、水原弘、村田英雄（初）森繁久彌、守屋浩、佐川ミツオ（初）坂本九（初）ダーク・ダックス、和田弘とマヒナ・スターズ。

「伴奏」＝東京放送管弦楽団とNHKオール・スターズ（指揮）服部良一、藤山一郎、奥田宏室（音楽監督）、長沢芸能局長、上田拳、沖代徳矢、大橋幸喜、森光子、助川明彦、和田夏十のほか視聴者代表芳賀武尚、山口正子。

「紅白」＝アイ・ジョージ、青野愛、藤島恒夫、フランキー堺、フランク永井、ジェリー藤尾（初）橋幸夫、林伊佐緒、美空ひばり、井上ひろし（初）伊藤久男、神戸一郎、春日八郎、高英男、三橋美智也（初）ザ・ピーナッツ

「白組」＝アイ・ジョージ、青野愛、藤島恒夫、フランキー堺、佐知子（初）ペギー葉山、坂本スミ子（初）島倉千代子、美空花代（初）雪村いづみ、こまどり姉妹（初）ザ・ピーナッツ

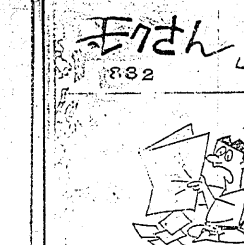
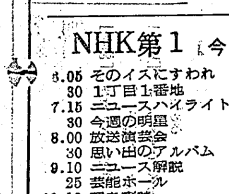
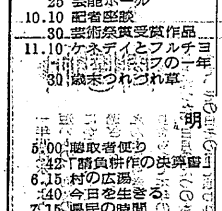
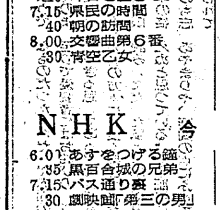
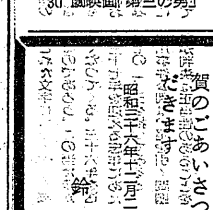
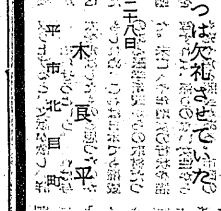
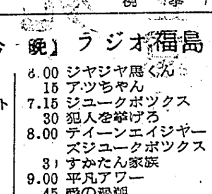
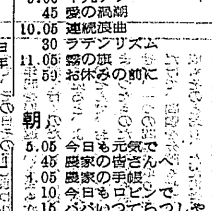
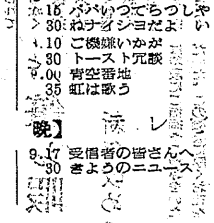
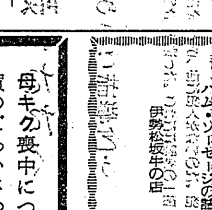
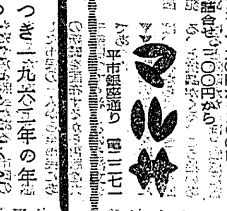
「白組」＝アイ・ジョージ、青野愛、藤島恒夫、フランキー堺、フランク永井、ジェリー藤尾（初）橋幸夫、林伊佐緒、美空ひばり、井上ひろし（初）伊藤久男、神戸一郎、春日八郎、高英男、三橋美智也、三波春夫、三浦洸一、水原弘、村田英雄（初）森繁久彌、守屋浩、佐川ミツオ（初）坂本九（初）ダーク・ダックス、和田弘とマヒナ・スターズ。

「伴奏」＝東京放送管弦楽団とNHKオール・スターズ（指揮）服部良一、藤山一郎、奥田宏室（音楽監督）、長沢芸能局長、上田拳、沖代徳矢、大橋幸喜、森光子、助川明彦、和田夏十のほか視聴者代表芳賀武尚、山口正子。

「二十九日」▼時の動き（①後10・10）多元演説「各地にみる歳末風景」東京・青森・福岡・鳥取（東京）新宿マンモス交番から

副都心新宿の暮の雑とうの模様又歌舞伎町路上からガンコーナーを中心に若者たちの生態を伝える。

（福岡）三井三池炭鉱からはヤマの人々の声・石炭政策の転換を求めるヤマの人々は都会の賑わいをよそに今夜もヤマとりくんでいる。

（鳥取）大山のスキー宿からスキー場の賑わいは記録破り、冬のレジャーのメッカスキー場の賑わいは記録破り（青森）連絡船上のカツギ屋に

「三十九日」▼時の動き（①後10・10）多元演説「各地にみる歳末風景」東京・青森・福岡・鳥取（東京）新宿マンモス交番から